

# 京 都 府 の 農 林 水 産 業 の 概 要

## 特徴・取組

京都府は、北から南に長く、北部は日本海に面し、中部に山地、南部は平野が広がっている。また、中央に横たわっている山の影響により、南部は穏やかな気候であるが、日本海に面した北部は、秋から冬にかけて雨や雪がよく降り、厳しい気候になっている。

京都府は、伝統工芸品に関する製造業が主産業となっており、これらの基盤技術の蓄積が先端技術を生む土壌となっている。  
また、第3次産業は、観光客の増加によりサービス業が増進している。

農地の約8割を水田が占め稲作が中心となっているが、ブランド京野菜の生産に力を入れるなど、収益性の高い農業を展開している。  
森林は、府内総面積の約7割を占め、京都市北部から南丹地域にかけての林業地帯を中心に、磨丸太（みがきまるた）、丹波まつたけ、ほんしめじ等、商品価値の高い林産物が生産されている。  
京都府の海では、暖水性のぶり、まぐろ、さわら等のほか、近年は、とり貝、あわび、いわがき等の養殖にも取り組んでいる。

宇治茶は、800年の歴史があり、てん茶（抹茶の原料）、煎茶、玉露などの様々なお茶が高評価を受けている。また、京都府では宇治茶のユネスコ世界文化遺産の登録に向けた取組を契機に、「お茶の京都」として、宇治茶をテーマにお茶生産の美しい景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信に取り組んでいる。

京都府では、優れた京都の農林水産物の中でも、安心・安全と環境に配慮した生産方法に取り組み、品質を厳選したものを「京のブランド産品」として認証している。「京のブランド産品」には京野菜の代表選手である京みず菜やさわやかな甘みが持ち味の京たんご梨、京丹波大黒本しめじなど合計31品目が認証されている。

## 主な農林水産物

### ねぎ

九条ねぎは、葉ねぎ（青葱）の代表品種で、京都市、山城地域などで生産している。葉は軟らかく、葉の内部のぬめりが特徴。



### みずな

江戸時代以前から京都を中心に栽培してきたとされる京野菜の代表格。（収穫量全国3位）



### なす

賀茂なす、京山科なす、千両なすなど、古くからある品種を生産している。（収穫量全国9位）



### とうがらし

万願寺とうがらし、伏見とうがらし、田中とうがらしなど、独自の品種を生産し、京の食文化を支えている。



### ほんしめじ

森の恵み豊かな中部地域で採れる「京丹波大黒本しめじ」は高級感があり京料理に合うと料亭などの評価が高い。（生産量全国1位）



### 黒大豆・小豆

丹波黒大豆、丹波大納言小豆など中山間地域を中心に生産している。丹波黒大豆から生まれた枝豆も有名。（小豆：収穫量全国3位）



### くり

南丹及び中丹地域で生産している。この地域のくりは、丹波くりとして平安時代からの歴史を持つ。



### たけのこ

京たけのこは京都西山一帯で多く栽培している。（生産量全国4位）



### 茶

京都で抹茶、煎茶、玉露という日本独自の栽培法と製法を開発。（収穫量全国5位）



### とり貝

舞鶴湾、宮津湾、栗田湾（くんだわん）、久美浜湾で養殖している。全国に先駆けて稚貝の生産・育成する技術を開発。



# 京都府内の各地域における農林水産物

## 丹後地域

【農畜産物】水稲、小豆、黒大豆、みずな、かんしょ、トマト、メロン、ねぎ、ごぼう、日本なし、茶、肉用牛

【林産物】木材、木炭

【水産物】さわら、かたくちいわし、まあじ、ぶり、ずわいがに、あまだい、かき(養殖)、とり貝(養殖)

## 南丹地域

【農畜産物】水稲、黒大豆、小豆、みずな、伏見とうがらし、ねぎ、えだまめ、かぶ、さといも、くり、肉用牛、乳用牛、豚、鶏卵

【林産物】木材、まつたけ、ほんしめじ

【水産物】あゆ

## 中丹地域

【農畜産物】水稲、小豆、黒大豆、えだまめ、万願寺とうがらし、みずな、きゅうり、茶、くり、肉用牛、乳用牛、鶏卵、ブロイラー

【林産物】木材、まつたけ

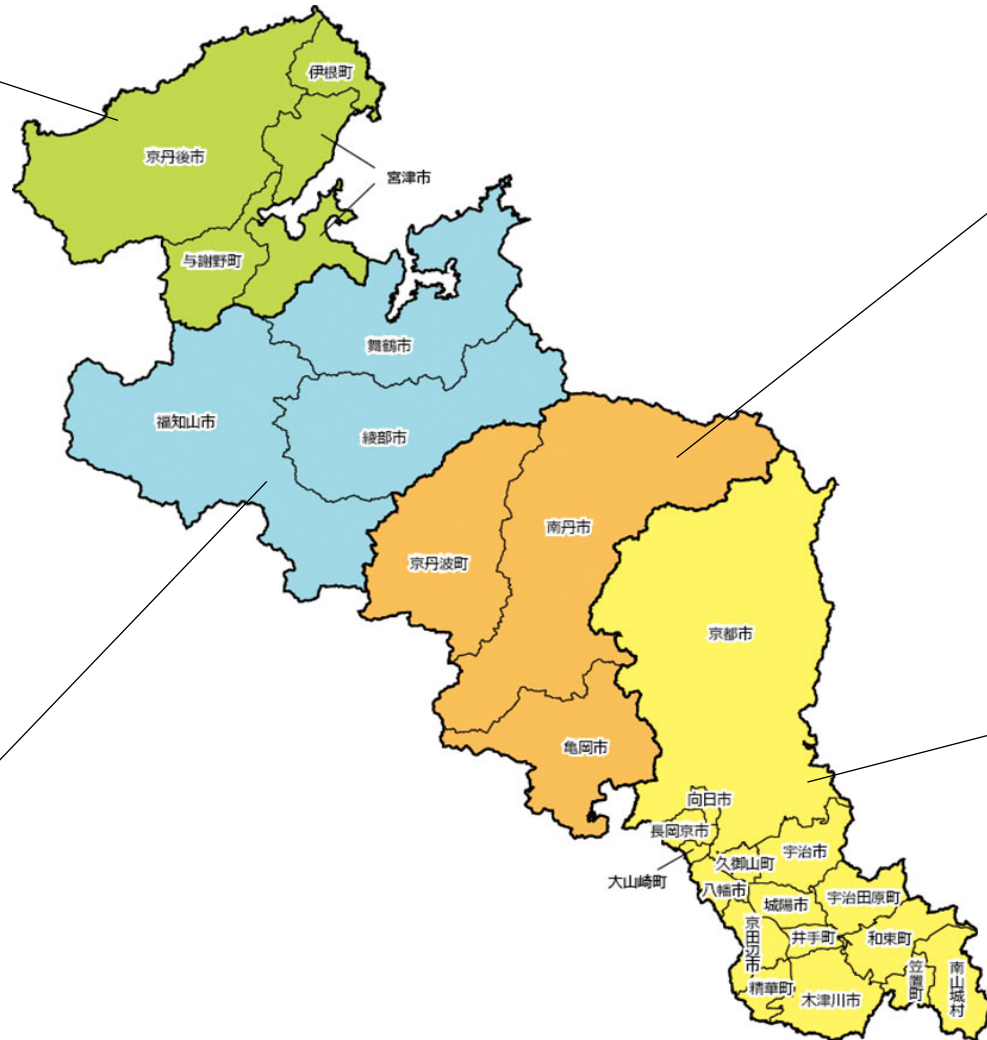
【水産物】さわら、かたくちいわし、まあじ、ぶり、ずわいがに、あゆ、かき(養殖)、とり貝(養殖)

## 京都市・山城地域

【農産物】水稲、茶、ねぎ、なす、ほうれんそう、こまつな、しそ、トマト、いちご、伏見とうがらし、花菜、だいこん、にんじん、さといも、イチジク、かき、はなしょうぶ、カラール

【林産物】北山杉、木材、竹材、しいたけ、たけのこ

【水産物】あゆ



# 京 都 府 の 農 業 ( 1 )

- ・耕地面積は2万9,700ha、うち約8割が田。
- ・農業経営体数は1万4,181経営体、うち法人経営体は333経営体。
- ・基幹的農業従事者数における65歳以上の占める割合は77.1%で、全国平均より7.5%高い。

## 耕地面積

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
耕地面積	29,700 ha	4,349,000 ha	39
田	23,100 ha	2,366,000 ha	35
畑	6,620 ha	1,983,000 ha	38
普通畑	3,630 ha	1,126,000 ha	39
樹園地	2,920 ha	263,200 ha	28
牧草地	68 ha	593,400 ha	37
参考) 総土地面積	461,220 ha	37,797,463 ha	31

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,129 ha	281,831 ha	30

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

## 担い手への農地の集積状況

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
担い手への集積面積	7,008 ha	2,535,115 ha	42
集積率	23.5 %	58.0 %	44

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。  
令和3年3月末の数値である。

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
農業経営体数	14,181 経営体	1,075,705 経営体	38
法人経営体	333 経営体	30,707 経営体	38
総農家数	24,953 戸	1,747,079 戸	35
販売農家	13,616 戸	1,027,892 戸	37
参考) 世帯総数	1,190,527 世帯	55,830,154 世帯	12
集落営農数	342 集落営農	14,490 集落営農	18

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	15,130 人	1,363,038 人	38
男	9,860 人	822,144 人	38
女	5,270 人	540,894 人	39
65歳以上	11,667 人	948,621 人	38
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	77.1 %	69.6 %	-
認定農業者数	1,360 経営体	233,806 経営体	41
法人数	254 法人	26,080 法人	38
参考) 総人口数	2,578,087 人	126,146,099 人	13

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 京 都 府 の 農 業 ( 2 )

- ・ 農業産出額は642億円で全国第38位。部門別には工芸農作物が12位、鶏卵が26位、野菜が29位、米が32位。
- ・ 農畜産物の生産状況は、みずな、小豆が全国第3位、かぶが4位、茶（生葉及び荒茶）が5位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農家民宿の年間販売金額が7,300百万円で全国第17位。

## 農業産出額

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
農業産出額	642 億円	89,557 億円	38
米	171 億円	16,551 億円	32
麦類	0 億円	521 億円	29 *
雑穀	0 億円	77 億円	29
豆類	6 億円	712 億円	20
いも類	6 億円	2,391 億円	38
野菜	250 億円	22,520 億円	29
果実	19 億円	8,741 億円	45
花き	9 億円	3,080 億円	45
工芸農作物	26 億円	1,553 億円	12
その他作物	4 億円	697 億円	28 *
畜産	125 億円	32,279 億円	37
肉用牛	15 億円	6,863 億円	38
乳用牛	41 億円	9,310 億円	31
生乳	36 億円	7,798 億円	31
豚	8 億円	6,596 億円	41
鶏	60 億円	8,724 億円	32
鶏卵	45 億円	4,577 億円	26
ブロイラー	10 億円	3,621 億円	33 *
その他畜産物	2 億円	787 億円	29
加工農産物	24 億円	436 億円	6

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

区 分	年次	京 都 府	全 国	全国順位	
みずな	収穫量	R2	2,270 t	43,800 t	3
小豆	収穫量	R3	362 t	42,200 t	3
かぶ	収穫量	R2	4,740 t	104,800 t	4
茶（生葉）	収穫量	R3	11,600 t	332,200 t	5
茶（荒茶）	生産量	R3	2,450 t	70,700 t	5
イチジク	収穫量	R元	452 t	1,158 t	7
こまつな	収穫量	R2	3,600 t	121,900 t	9
なす	収穫量	R2	7,450 t	297,000 t	9
ほうれんそう	収穫量	R2	5,310 t	213,900 t	10
しそ	収穫量	H30	167 t	8,115 t	11 *
えだまめ	収穫量	R2	1,210 t	66,300 t	13
ねぎ	収穫量	R2	7,730 t	441,100 t	19

出典：「野菜生産出荷統計」、「作物統計」、「地域特産野菜生産状況調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位	
農家民宿	総額	73 百万円	5,409 百万円	17 *
	経営体数	20 経営体	1,360 経営体	16 *
観光農園	総額	278 百万円	35,943 百万円	32
	経営体数	70 経営体	5,290 経営体	21
農家レストラン	総額	385 百万円	35,696 百万円	33 *
	経営体数	20 経営体	1,360 経営体	25 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 京 都 府 の 林 業

- ・ 林業経営体のうち法人経営体数は119経営体で全国第8位。
- ・ 林業産出額は23.2億円で全国第37位。内訳は、木材生産が11.6億円で全国第34位。
- ・ 林産物の生産状況は、ほんしめじが全国第1位、たけのこが4位。

## 林野面積

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
林野面積	342,293 ha	24,770,201 ha	27
国有林	7,037 ha	7,153,338 ha	44
民有林	335,256 ha	17,616,863 ha	23
人工林面積	131,591 ha	10,203,842 ha	33

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

## 林業経営体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
林業経営体数	619 経営体	34,001 経営体	22
法人経営体	119 経営体	4,093 経営体	8

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

## 林業産出額

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
林業産出額	23.2 億円	4,286.4 億円	37
木材生産	11.6 億円	1,943.7 億円	34
栽培きのこ類生産	10.9 億円	2,259.6 億円	33

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
素材生産量	141 千m <sup>3</sup>	19,882 千m <sup>3</sup>	32
針葉樹	122 千m <sup>3</sup>	18,037 千m <sup>3</sup>	31
すぎ	87 千m <sup>3</sup>	11,663 千m <sup>3</sup>	33
ひのき	25 千m <sup>3</sup>	2,722 千m <sup>3</sup>	27
広葉樹	19 千m <sup>3</sup>	1,845 千m <sup>3</sup>	19
ほんしめじ	生産量 282.7 t	285.7 t	1
たけのこ	生産量 2,245.9 t	26,448.5 t	4

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 製材工場数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
工場数	54 工場	4,115 工場	37
製材用素材の入荷があった工場数	54 工場	4,067 工場	36
国産材のみ	37 工場	3,237 工場	35
国産材と輸入材	11 工場	653 工場	26

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 京 都 府 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は45億円で全国第36位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のさわら類が全国第3位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、漁家民宿の年間販売金額が2億9,900万円で全国第6位。

## 漁船隻数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
漁船隻数	983 隻	132,201 隻	31
動力漁船	488 隻	69,920 隻	32

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

## 漁業経営体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	636 経営体	79,067 経営体	31
内水面漁業経営体数	16 経営体	4,772 経営体	44

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	928 人	151,701 人	35
男	880 人	134,186 人	35
女	48 人	17,515 人	33

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業産出額

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	45 億円	13,484 億円	36

出典：「令和元年漁業産出額」

## 水産物の生産状況

区 分	京 都 府	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	10,660 t	4,182,983 t	35 *
海面漁業漁獲量	9,716 t	3,213,334 t	34
さわら類	1,538 t	16,130 t	3
かたくちいわし	3,047 t	143,857 t	12 *
海面養殖業収穫量	944 t	969,649 t	29 *
貝類	322 t	308,450 t	14 *
内水面漁業・養殖業生産量	20 t	50,832 t	38 *
内水面漁業漁獲量	10 t	21,745 t	33 *
あゆ	7 t	2,084 t	20 *
内水面養殖業収穫量	10 t	29,087 t	40 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

## 漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	京 都 府	全 国	全国順位	
漁家民宿	総額	299 百万円	6,659 百万円	6 *
	経営体数	40 事業体	900 事業体	6 *
水産加工	総額	628 百万円	175,132 百万円	28
	事業体数	10 経営体	1,500 経営体	28
水産物直売所	総額	151 百万円	36,489 百万円	28 *
	事業体数	10 事業体	800 事業体	18 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 京都府の農林水産業の話題等（1）

## 「京ものサプライチェーン」を構築し、新たなブランド価値を創出

「産・学・公」が連携し、食に関わる多様な業種の事業者をつなぐことで、付加価値の高い新商品・新サービスの創出を推進するため、「京都食ビジネスプラットフォーム」を令和3年11月に立ち上げた。

研修会やワークショップ等の商品開発支援等に係る情報提供や、会員の連携機会の創出により、京の食文化を体現する最高品質の「京都プレミアム中食」など内食・中食需要に対応した商品づくりを推進するとともに、宇治茶・日本酒・京野菜・牛肉等の輸出を進めるなど、生産から加工、流通、販売・飲食、しつらえまで各業種の戦略を組み合わせた「京ものサプライチェーン」を構築し、他県をリードする新たなブランド価値を創造していく。



京都食ビジネスプラットフォーム  
キックオフイベントの様子



京都プレミアム中食  
のイメージ

## 「豊かな森を育てる府民税」の第2期スタート

土砂災害の防止や水源のかん養などの役割を担う貴重な森林を、将来にわたって守り育てていくことを目的として平成28年度から導入した「豊かな森を育てる府民税」について、課税期間を5箇年延長し、第2期（令和3年度～7年度）の取組をスタートした。

この府民税を活用し、保安林等で地域住民が取り組む倒木撤去の支援や人家裏及び鉄道沿い等の危険木の伐採、森林資源の循環利用を目指した森林施業の低コスト化実証に加え、府民が森林の大切さや木材への親しみを感じることができる体験の機会づくりなど、様々な取組を実施。

引き続き、頻発する自然災害や健全な森林の維持・増進をはじめとする喫緊の課題への対応策を重点的に推進していく。



鉄道沿いの森林復旧整備状況  
（左京区鞍馬本町地区）



ヒノキの間伐体験の様子

# 京都府の農林水産業の話題等（2）

## 集落を越えた新しい営農体制の構築

農業従事者の減少と高齢化が進む中、京都府の農業・農村を次の世代へ確実に引き継いでいくためには、既存の集落営農・集落のあり方を見直し、力強い経営と効率的な共同活動を両立した営農体制の構築が急務となっている。

京都府内の集落営農の多くは、単一集落で水稻を中心とした営農に留まっており、経営規模が小さく、収益力の向上が課題となっている。

また、農業者の減少及び高齢化により、人材不足が深刻化している。

令和3年度から「複数集落単位での広域的な営農体制の構築」とともに「農地管理の外部委託」や「企業連携による人材確保」を通じて、持続可能な地域農業を創出するため、『集落連携100ha農場づくり』事業をスタートした。



地域の役員と関係機関による話し合いの様子



農地管理の外部委託に向けたラジコン草刈機見学会

## 畜産の新たな担い手を支援「京の畜産応援隊」を結成

畜産の新たな担い手の発掘や育成、新規就農、経営基盤等の整備、法人化等への対応といった現場が必要としている切れ目ない支援を行うため、京都府、市町村、関係団体・機関などオール京都で組織する「京の畜産応援隊」を令和3年12月に結成した。

今後は、補助事業等を活用しながら、畜産農家それぞれの状況にあわせたきめ細やかな伴走支援を行う体制を確立することで、京都府の農業生産額のうち2割を占める畜産の持続的な発展を支えていく。



「京の畜産応援隊」の活動イメージ



関係者が一同に会したキックオフ会議